



Ehime University Study Abroad Program



Q & A

Q: 留学したいのですが、どこか良いところを紹介してください。

A: 人によってお勧めする留学先が変わります。

実は「留学するならここ！」というところはありません。留学に何を求めるかによって、その人にとっての「良い留学先」が変わってくるからです。

留学の目的、時期と期間、留学にかけられる費用、留学したい国・教育機関はどこですか？まず、無数の選択肢の中から、自分の留学の目的は何か、そのためにはどんな形の留学が一番目的を達成できるのか、自分にとってははずせない条件は何か、自分自身で考えてみましょう。

Q: 留学するためには、どのくらいお金が必要でしょうか？

A: 留学先によって様々です。

まずは、留学先を決めてから「留学相談室」（詳細は裏面にあります）などで相談してみましょう。また、どんな形の留学でも必要なのは、渡航・帰国のための交通費と滞在先での住居費を含む生活費と授業料です。交換留学の場合のみ、愛媛大学に授業料を支払いますが、それ以外は、留学先の教育機関に授業料を支払う必要があります。また、パスポートやビザ取得のための費用、語学力証明のための語学テスト費用（試験会場への移動・宿泊費含）、海外旅行保険の費用など、出発前にも諸手続にお金がかかります。

Q: 留学したいのですが、お金がありません。何かいい奨学金はありませんか？

A: 狭き門ですが、一部あります。

大学内の海外研修プログラムには、JASSO（日本学生支援機構）や愛媛大学校友会の奨学金がつくものもあります。しかし、どのプログラムにどのくらいの奨学金がつくかは年度によって違いますし、選抜試験等があることも多いです。詳細は国際連携課の掲示板等で確認してください。また、学外の奨学金（「トビタテ！留学JAPAN」）などもありますが、申請書記入をはじめ手続きは全て自分でしなければなりません。学外の奨学金申請は、多くの場合語学能力を証明する必要もありますが、その受験費用は自己負担です。



留学体験記

インドでみつけたわすれもの



はじめまして。現在、私はJawaharlal Nehru Universityに2019年の8月から在籍しています。インドを選んだ目的は語学力を向上させることではなく、このカオスな環境での生活を通して、異文化適応能力や忍耐力、交渉力など、将来グローバルに活躍するために求められる「人間力」を鍛えることでした。本来、ここでは私が現地でいかに晴れやかで充実した留學生生活を送っているのかをお伝えすべきなのですが、今回はあえて「光」の部分の写真だけに留め、思い切って「影」の部分に焦点を当ててお話しさせていただきたいと思っています。

さて、みなさんにとって当たり前のことは何ですか。毎日美味しいご飯が食べられること、万全の環境で勉強できること、家族や友人と時間を過ごすこと、そして、生きていられること。毎日授業の予習や課題に追われ、余暇や休日には現地の友人と時間を共にし、寮に帰ると疲れ果てて布団に入り一日が終わる。これこそが現地で送る平凡な日課だと思っていました。しかしながら、それはとんだ勘違いであり、11月に入った直後からすべてが変わってしまいました。政府が一方的に発表した“Hostel Manual”改正案が、JNUの学生の40%を経済的理由で通えなくさせ、さらに、門限や服装を規制して学生の自由までも奪おうとする内容だったのです。この政策に対して学生が一斉に声を挙げ、現在もなお、授業や試験をボイコットしてまで学内外で警察と衝突しながら抗議活動を続けています。先日には、警察や武力集団が学内に介入する暴力事件が発生し、記憶に新しい香港のデモを想起させる状況になりつつありました。

みなさんは想像できますか。政府によって学生たちが痛め押さえつけられ、彼らの学問の機会や自由が奪われ、さらに、彼らの家族までも苦しめられるこの状況を。現地の友人たちは、我々日本人留學生を本当に気にかけてながら勇気を持って必死に戦い続けています。この状況がいつまで続くか目途が立たないうえ、終わらなかったとすれば、彼らを置いて帰国しなければならないことを考えるだけで胸が痛みます。私は海外志向が高すぎるため、食べ物を除いて何もかも外国を選ぼうとしてしまいます。世界へはばたこうとする姿勢、決してそれが良くないと言っているわけではありません。でも、まず一歩立ち止まって身の回りを見渡し、当たり前のことに感謝してみてください。きっと、その先に見える世界はまた違った景色になるはずです。

(2019年8月～2020年5月予定JASSO利用長期留学 法文学部 生和 希)

どんなプログラムがあるの？

引率型プログラム

「引率型」は、先生がプログラムを企画・引率するタイプのプログラム。基本的に2～3週間の短期プログラムで、現地の学生との交流や文化体験に主眼を置く文化研修やフィールドワーク系のプログラムと、ホームステイ先（もしくは寮）から語学学校に通う語学研修とがあります。引率型の短期プログラムは、学部によって単位が認定されることがあります。共通教育科目の単位として認定されるものと、一部、専門科目として認定されるものがありますが、後者については、みなさんが所属する学部に登録可能な科目があるかどうかをまず確認してください。

語学留学

個人で渡航するタイプの留学のなかで、ホームステイ先（もしくは寮）から各種語学学校（大学附属のもの私立のものがあります）に通うタイプの留学。期間は最短で2週間くらいから長期（6ヶ月～1年）にわたって滞在する人もいます。協定校に附属する語学学校に留学する場合でも、語学学校は大学そのものと経営母体が異なりますので、授業料等はすべて私費で支払う必要があります。私費による語学留学であっても、また、協定校ではない私立の語学学校で学ぶ場合でも、所定の授業日数を満たし、きちんとした成績証明書が発行される場合は、愛媛大学の単位が認定される場合もあります。

単位認定についての注意

語学留学の単位認定については、学部によって扱いが異なりますので、みなさんが所属する学部に登録可能な科目があるかどうかをまず確認してください。自分が所属している学部とは異なる学部に語学留学の単位が認められる科目がある場合、それらの科目を登録した場合に、自分の学部において卒業要件を満たす単位として認定されるのかどうかなど、詳細について、事前に十分に確認しておく必要があります。

交換留学プログラム

個人で渡航するタイプの留学プログラム。これは、愛媛大学に授業料を支払い、ある一定の期間（半年～1年間）、協定校の学部で学ぶことをいいます。この場合、愛媛大学に学費を支払っていますので、留学先へ学費を納入する必要はありません。また、交換留学中は、愛媛大学に在籍しているものとみなされますので、1年間留学していても、学年進行に影響しないというメリットもあります。ただし、交換留学プログラムのなかには、プログラムに参加するために求められる語学能力のレベルが高いものがあり、語学能力証明（→TOEFL/IELTSなど）が必要となりますので、早くから計画して、準備をしておくことが大切です。交換留学プログラムにおいて現地で取得した単位は、学部の規則に沿って審議のうえ、愛媛大学における単位として読み替えられることがあります。

留学と休学について

知っておきたい

交換留学プログラムのように、愛媛大学に在籍しながら海外の協定校等に留学することができるものもありますが、語学留学の場合は、愛媛大学を休学して留学する人もいます。休学期間中は愛媛大学に学費を支払う必要はありませんが、在籍日数には数えられないため、卒業を延期することになります。休学期間中に留学しても、単位が認定されることがありますので、早めに留学相談室に来て、具体的な留学の計画や単位認定について相談しておきましょう。

留学を考えた時

1

情報収集 → 留学先や留学の種類、費用は様々です。まずは情報収集から始めましょう！

自分で本やインターネットを利用して情報収集してもいいですし、留学相談室（最終頁）を利用してもいいでしょう。また、毎年春に実施している「Study Abroad Fair」に参加して留学体験者の話を聞いてみるのもいいかもしれません。

2

プランニング → 集めた情報の中から、必要な予算や留学の時期について検討しましょう！

- ・なぜ留学したいのか？（語学力？専門知識？異文化体験？）
- ・留学先で何を学びたいのか？（英語？中国語？法律？）
- ・どの国に行きたいのか？（アメリカ？ドイツ？インドネシア？）
- ・いつ留学するのか？（夏休み？○年生？就職先決定後？）
- ・どのくらい留学したいのか？（数週間？数ヶ月？1年間？）
- ・帰国後留学をどう生かしたいのか？（就職に？人生経験として？卒業後大学院進学のため？）

3

留学の具体化 → 自分がイメージする留学を明確にしましょう！

有意義な留学生活を送るために、目的、自分の語学力、予算、時期などの条件に見合った計画を立て、余裕をもったプランとなるよう心がけましょう。

専門知識の追求

交換留学
インターンシップ
フィールドワーク
ダブル・ディグリー など

語学留学

大学主催の短期プログラム
大学等の付属語学学校
一般の語学学校 など

異文化・海外体験

大学主催の短期プログラム
ワーキングホリデー
海外ボランティア
ワークキャンプ など

4

入学許可・留学手続き

申請書など、提出期限に気を付けましょう。入学許可証等は内容に間違いがないかチェックします。授業料などを振り込む場合は、必ず期日までに支払いをすませましょう。

5

渡航手続き

パスポートやビザの申請など、入国に必要な準備をします。

6

出発

留学に興味のある方は…

英語能力試験

交換留学やダブル・ディグリーの取得、大学院への進学などになると、多くの派遣先大学はIELTSやTOEFL等の英語能力試験のスコア提出が求められます。留学希望先によって、求められる試験の種類やスコアは異なりますが、自分の英語力を知るためにも早い段階から受験準備をしておくことによいでしょう。中には愛媛で実施されない試験もありますので、注意してください。

GPA (Grade Point Average)

派遣学生の選考にあたっては、近年 GPA が非常に重要になってきています。GPA は留学だけでなく、奨学金の選考や就職活動においても重視されています。普段からの積み重ねが大切ですので、日々の学習に真剣に取り組みましょう。

貯金

留学期間や留学先は、用意できる費用に大きく左右されます。いざという時のために、留学費用を準備して自分でできる限り貯金しておきましょう。



留学体験記



僕が留学先に選んだダブリンシティ大学では、午前中は授業、午後は多くの自由時間がありました。英語を通して、多くの友達を作ることができました。また、一週間単位で留学期間が変更するので、新しくクラスに入ってくる人や、留学期間を終えて帰ってしまう人、また、クラスの先生が変わるなど、刺激を感じる事が多々ありました。午後は、授業で友達になった人と大学側が用意しているアクティビティに参加するか、都市を散策することができます。休日にも有料のアクティビティがあり大学の近くではなく、アイルランド全体を観光できたりできました。とても充実した留学になりました。

(2018年8月～9月語学留学 理学部 山崎 裕太)



留学体験記 「壁が無ければ始まらない」



9月初旬から11月中旬。僕がカナダに行ったこの期間は、最高に自然が美しい時期でした。雲ひとつない青空が広がる晩夏、紅葉がたまらない秋、雪景色が顔を覗かせる初冬。自然が好きな方にとっては最高の国・都市です。

素敵なことばかりのカナダですが、留学は何もかもが上手くいくものでは無かったです。言葉と文化の壁は、理解をしたつもりで行ってもかなり苦労しました。自分が思っていたよりも随分とSpeaking、Listeningが上手くいかず、留学開始後3日間は「自分以外のクラスメートは授業に難なく付いて行っているのに、何で自分はこんなにも通じないし聞き取れないのか」とかなり落ち込みました。指導教員の先生にアドバイスを頂きながら辿り着いた答えは「結局は慣れだ」ということです。たとえ理解できなくても根気強く英語に触れ続ける、文法がグダグダでも伝えようと必死になって喋ってみる。そうして時間が経てばいつの間にかある程度は聞き取れ、喋れるようになっていました。

皆さんは日本人の接客は好きですか？僕は、日本で「良い」とされている、丁寧で、いつも笑顔でいることを心掛けている接客が大好きです。台湾出身のクラスメートが「日本人の接客は時にやりすぎだよ。でもそれがいいよね。」と言っていました。国や文化によって人の接し方や求められるものが違うように、カナダの接客は日本と少し違い、お客さんと店員さんが対等な立場にいるような感じでした。少しぶっさらぼうにも感じ、この違いに慣れるのには時間が掛かってしまいました。

僕は高校3年の時に海外研修で一度カナダを訪れ、二人のホストファミリーにお世話になりました。大好きな彼らにどうしても会いたく、最後の一週間だけそこでホームステイをさせてもらいました。アイスホッケーの観戦、雪だるま作り、料理…。一緒に最高の思い出作りができました。彼らは3年越しに僕に会えることを想像もしていなかったらしく、興奮気味にも、本当に温かく迎えてくれました。

留学中は様々な壁に直面します。それを乗り越える中で、新たな自分や仲間の意外な一面、自分を支えてくれる人々がいることに気付けると思います。期待と不安を抱きながら留学を夢見ている方がいれば、ぜひその気持ちを大切にしてください。間違いなくその気持ちが自分を変える種となり、自分自身を強く支えてくれます。壁があるなら越えればいい、一歩踏み出さずすれば一緒に伴走してくれる人がきっと現れます。誰かに支えてもらった分だけ留学は色濃く、忘れられないものになると僕は信じています。

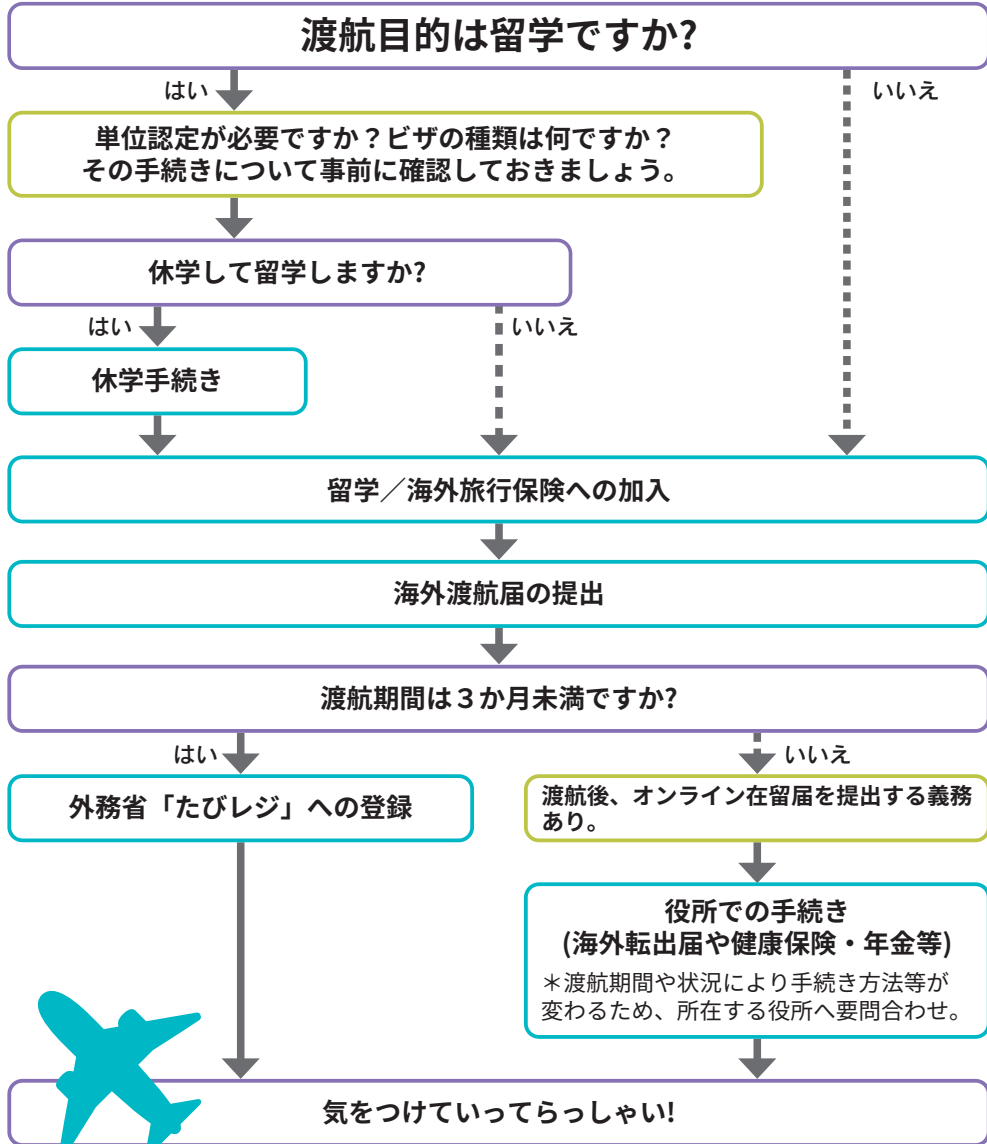
留学中は様々な壁に直面します。それを乗り越える中で、新たな自分や仲間の意外な一面、自分を支えてくれる人々がいることに気付けると思います。期待と不安を抱きながら留学を夢見ている方がいれば、ぜひその気持ちを大切にしてください。間違いなくその気持ちが自分を変える種となり、自分自身を強く支えてくれます。壁があるなら越えればいい、一歩踏み出さずすれば一緒に伴走してくれる人がきっと現れます。誰かに支えてもらった分だけ留学は色濃く、忘れられないものになると僕は信じています。

(2019年9月～11月語学留学 法文学部 関 貴大)

渡航前に行く手続き ～書類手続～



海外に渡航する場合に必要な、基本的な書類手続きは以下のとおりです。



個人的に参加する語学研修プログラムや奨学金関係では、このほかにも書類提出が必要な場合があるため、必ず担当部署等に確認すること。

渡航前に行く手続き ～渡航準備～



留学など、海外渡航が決定したら渡航に向けた準備を早めに始めましょう。

渡航前に行くべき主な準備は以下のとおりです。あくまで基本的なものですので、渡航先に合わせた必要な準備は自分で改めて確認しましょう。また、取組時期については目安として参考にしてください。

準備項目		取組時期	備考
<input type="checkbox"/>	予防接種（厚生労働省の情報等参考に接種）	7～3か月前	必要に合わせ
<input type="checkbox"/>	健康診断	6週間前まで	必要に合わせ
<input type="checkbox"/>	歯科検診・治療		
<input type="checkbox"/>	いつも服用している薬があれば滞在中の分を処方してもらうか処方箋（英文）を出してもらう	早めに	ビザ及びパスポートの発給は時間がかかりますので、余裕を持って申請してください。 ※渡航先によっては航空券の手配にはビザが必要な場合があります。
<input type="checkbox"/>	パスポートの申請・有効期間の確認		
<input type="checkbox"/>	ビザの申請（必要な場合のみ）		
<input type="checkbox"/>	渡航先の情報収集（文化・習慣，気候，法律等）		
<input type="checkbox"/>	渡航先で必要な荷物の用意		
<input type="checkbox"/>	航空券の手配		
<input type="checkbox"/>	海外渡航安全ガイドの内容を確認		
<input type="checkbox"/>	外務省HP等から現地の治安情報・感染症危険情報等を確認		
<input type="checkbox"/>	海外旅行保険や留学保険に加入		
<input type="checkbox"/>	海外渡航届を各学部チームへ提出 ＊留学保険証とパスポートのコピーを合わせて提出		
<input type="checkbox"/>	連絡先リストの作成 （現地大使館・総領事館、現地警察、クレジットカード・航空・保険会社、大学緊急連絡先等）	渡航日程 決定後	
<input type="checkbox"/>	外務省「たびレジ」への登録 ＊3か月未満の短期渡航者（旅行者を含む）が対象。 3ヶ月以上の方は、渡航後、オンライン在留届を提出する義務あり。		
<input type="checkbox"/>	プログラム説明会・事前研修等に参加	適宜	

準備の主なポイント



●一番大事なのはパスポート

入国時に必要な**残存有効期間**が、帰国予定を超えて必要な場合がありますので予め確認しておきましょう。（例）アメリカ90日以上、中国・インドネシア6ヶ月以上、等
※最新の情報を確認してください。

出発前にも、必ず所持していることを確認してください。

盗難にあった際には、現地の警察へ盗難届を出し、現地の日本大使館もしくは領事館に届け出て**再発行**を申請することになります。**帰国のための渡航書**を申請することで発行に必要な日数を短縮することもできます。予め各機関の場所と連絡先を確認しておき、**コピーとパスポート用の写真**も複数枚用意して別の場所に入れておきましょう。

●連絡手段の確保とお金の管理

前述のようなトラブルがあった時、連絡ができなければ困りますので、**海外で使用可能な携帯電話等連絡手段とインターネットへの接続環境**は確保しておき、連絡する可能性のある連絡先は紙のリストにまとめておきましょう。

自分の連絡先は海外渡航届に記入して提出するとともに、家族や担当の先生にも伝えておいてください。現地で重大な事態が発生し情報提供や安否確認が必要となった際、連絡が取れなければ、自分だけでなく周りの人にも大変な心配をかけてしまうことになります。

また、お金についても必ず必要なものですが、細かい支払いのための現金とクレジットカード等、**複数の手段**で持っておくようにしましょう。カードに不安のある方はプリペイド式のものを用意申し込んで所持しておけば、トラブルの際被害額を限定できますし、渡航中に残金が不足する場合には日本国内の家族から入金してもらうことも可能です。

●健康面では

感染症等のおそれのある国へ渡航する際は、事前に**予防接種**を受けておくべき場合があります。期間を置いて複数回受診の必要なものもありますので、余裕をもって確認してください。

また、海外旅行保険のうち多くの種類では**歯科疾病**は対象外となっています。現地で処置が必要とならないよう、こちらも前もって国内で受診しておきましょう。

その他、海外へ渡航してからは、**生水や生もの**の飲食は避けた方が無難です（歯磨き、果物を洗う水、飲み物に入っている氷等にも気をつけてください）。また、**普段使用している医薬品**が手に入りにくいこともありますので、予め準備しておきましょう。



トラブルあれこれ…

(参考)

一部、外務省「海外安全虎の巻～海外旅行のトラブル回避マニュアル～」より抜粋

ケース1 乗り物の中で

バスの車内で集団に取り囲まれて、バスが揺れるたびに体に触れたり、乗客が乗り降りするたびに押されたりして、後で気が付いたら財布をすられていた。

ケース2 ホテルの部屋で

スーツケースにパスポート・現金などを入れて鍵をかけ、部屋に置いたまま外出したところ、泥棒に入れられ、スーツケースの鍵が壊されて金品が盗まれた。



ケース3 偽警官

観光していると「チェンジマネー」と言いながら両替を求めて近づいてきた男を、別の男が警察手帳のようなもの（偽手帳）を見せながら追い払った。こちらにも闇両替の疑いがあるとして、パスポートや財布の提示を求めてきたので渡すと、中身を確認し、そのまま返してくれた。ホテルに帰ってから財布を確認すると、高額紙幣が抜き取られていた。

ケース4 睡眠薬強盗

市街地を観光中、自分も旅行者だと名乗る男と親しくなり、市内を一緒に観光した。かなり歩き回ってから、ビールを買って公園で一緒に飲み、すすめられたクッキーを食べたところ、意識を失った。その後、もうろうとした状態で歩いているところを発見され、気が付いたら、パスポート、現金、航空券、時計など身の回りの貴重品全てを盗まれていた。

ケース5 車中への荷物の放置

貸切のマイクロバスや乗用車で移動中、休憩や食事で降車した。座席の外から目立つ場所に貴重品を置いたままにしていると、盗難に遭う危険性が高い。こういう場合は、貴重品は必ず携行し、車外から見やすい場所に荷物を置かないようにしましょう。

より詳しくは、海外渡航安全ガイドブックをご参照ください！



留学体験記



私は、今年の2月にインドネシアのマカッサル市ラッカ村へ約5日間滞在し活動を行った。今回の研修でもラッカ村を訪問した。2月の研修では、ゴミ問題について取り組んだのだが、その活動の成果を今回見ることが出来た。また、今回の研修では、インドネシアの一つの地域で活動するのではなく三つの地域で行った。ラッカ村以外の地域の現状を見て、ラッカ島にはない魅力や特徴を知った。反対に、竹を用いた特産品やニッパ酒などのラッカ村にしかない魅力にも気が付くことができ、良い機会となった。

今回の研修は来年の2月に行われるSUIJI海外サービスラーニングに向けて準備をすることができた。来年の2月に一緒に活動を行うインドネシア学生との話し合う機会もあり、次の活動の大まかな打ち合わせをした。また、他の地域で活動を行う日本人学生からも意見をもらうことができ、次の活動に生かしていこうと考えている。

(2019年2月～3月引率型プログラム参加 農学部 花木 紅実)



留学体験記



留学を通して、英語ができることで専門分野における幅がとてもひろがることを実感させられました。英語を母語とする国だけでなく、スウェーデンのように英語を母語をしない国であっても、共通の興味関心があることで、様々な国々の人が大学や大学院で学べることはとてもすてきなと感じました。また、今までは、海外の大学、大学院で学ぶことなんて、夢の夢だと思っていましたが、留学中にいろいろと調べたことで、自分も日本だけでなく、可能であるならば大学院等で海外の大学も自分の目的に合わせて、選ぶことができるんだなということを実感でき、今後の勉強に幅を持たせたことができ、とても有意義な時間となりました。また、共に学ぶ友達が世界中にできたことは、今後の人生において、とても大きいものであったと

思っています。すごく、まとまりの無い文となってしまいましたが、今回の留学が自分の人生での必要不可欠な時間であり、有意義なものであったと確信しています。

もし、留学に興味があるのであれば、実際に先生や留学経験をした人にお話を聞いてみてはいかがでしょうか？一概には言えませんが、目的を固めて留学に臨めば、必ず素晴らしい有意義な時間になると思います。

(2018年8月～2019年6月交換留学 理学部 常盤 誉)





海外に行けなくても…ココで国際交流ができます！

■ ICO

International Coordinatorsは、愛媛大学公認のボランティア団体（Student Campus Volunteers）で、留学生と日本人学生が交流するためのさまざまな交流イベントを運営しています。メンバーになって、イベントに参加しましょう！

■ サークル・部活動

あなたが所属するサークルや部に、ぜひ留学生を誘って一緒に活動しましょう。

■ 受入プログラムに参加

キャンパスでは、さまざまな留学生受入プログラムが実施されていますので、積極的に参加してみましょう。

■ 留学生のサポート

留学生の各種手続きをサポートするチューターや、日本語授業でボランティアをするJ-supportなど、愛媛大学で学ぶ留学生のサポーターになることで、キャンパスでも国際交流体験ができます。



英語・外国語の勉強は…ココで！

■ 英語教育センター

英語教育センター(EEC)では、センターの先生方と自由に英語を話すことができるセッションを提供しています。詳しくは、EECのウェブサイトを確認するか、EEC事務室（愛大ミュージズ2階）に問い合わせましょう。

■ 留学生や帰国生と話そう

留学生や、留学から戻ってきたばかりの日本人学生と一緒に、英語やその他の外国語を積極的に使いましょう。詳しい情報は、国際いんぷおML (International Mailing List) にも流されますし、すべての学生に共有されます。国際連携(Institute for International Relations: IIR)のウェブサイトもチェック！

■ English Hour

学期ごとに曜日時限を決めて、留学生が英語を教えてください。

■ ESS

English Speaking Societyに入って活動することで英語の力をつけることができます。

■ 仲間をつくろう

英語や外国語の勉強のスタイルは十人十色！自分で、勉強のグループをつくるのもいいですね。国際連携課もできるだけお手伝いします。

留学相談室

城北

キャンパス

中国

M226
M230

留学先

相談場所

フランス

M317

韓国

M227

ドイツ

M316

英語圏
その他

M211

相談時間：12:00～12:30（実施曜日をご確認ください）

場所：愛大ミュージズ2階・3階

問い合わせ：国際連携支援部国際連携課 学生交流チーム

✉ kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp ☎089-927-9157

留学について詳しく知りたいときは…ココで！

- 1. 留学相談室** 毎週、開室時間が決まっています。前もって予約することもできます。留学したい国・地域によって相談する部屋・相談時間が異なりますので、各学期（クォーター）の最初にキャンパスのいろいろなところにはりだされるポスターをチェックしましょう！
- 2. Study Abroad Fair/International Fair** 春（5月頃）に開催予定。
- 3. 国際連携支援部国際連携課 学生交流チーム** 愛大ミュージズ2階。
- 4. 国際いんぷおML** 留学・国際交流についての情報が届きます。
- 5. 授業のシラバス** 各種海外研修プログラムの中には単位が取れるものもあります。
- 6. 留学説明会** 各学部でそれぞれ説明会がひらかれます。その他、愛媛大学リーダーズ・スクールや、英語教育センター等でも海外研修プログラムの説明会が行われます。
- 7. 各種掲示版** 電子掲示板をはじめ、国際いんぷおMLや、キャンパスにある掲示版でも留学関係の情報が見つかることがあります。普段からチェックしておきましょう！
- 8. 愛媛大学生協旅行カウンター** 生協もさまざまな留学プログラムを提供しています。カウンターでパンフレットをもらうことができますし、生協主催の海外研修説明会もあります。
- 9. 危機管理セミナー** プログラムが多数実施される長期休暇の前に、年2回セミナーを実施しています。出席が奨学金受給の要件になることもあります。海外渡航を予定している場合は、必ず参加してください。